

「北九州響灘洋上ウインドファーム」の営業運転開始について  
— 国内洋上風力の4割を占める、最大の洋上ウインドファームが本日営業運転開始 —

当社が出資する「ひびきウインドエナジー株式会社」(福岡県北九州市 代表取締役社長:水町豊)が試運転を進めてきた「北九州響灘洋上ウインドファーム」が本日、営業運転を開始しました。今後、20年間にわたりFITを活用した発電事業を行ってまいります。

本事業は、単機の設備容量9,600kWの風車25基、合計の最大出力22万kWの発電所として、現時点で洋上風力発電所として国内最大を誇り、国内の洋上風力の総出力の4割を占める規模となります。

発電量は一般家庭の17万世帯分にあたる年間約5億kWh。北九州市の世帯数の4割に相当します。また、CO2削減効果は年間約27万トンと見込まれ、同市の家庭用CO2排出量の4分の1に相当します。

2050年カーボンニュートラルを目指すうえで、国は再生可能エネルギーの主力電源化を目指しています。四方を海に囲まれているため、第7次エネルギー基本計画では、「洋上風力発電は再エネ主力電源化の切り札」と位置づけています。

足元の事業環境は厳しいものがあるものの、本事業で得られた、リスクマネジメント、複雑な海底地盤および大型風車採用における設計認証・施工、ファイナンス、地域共生等のノウハウなどは、今後の洋上風力開発に向けて、当社の大きな強みとなります。

今後も案件毎の事業性や投資効率性など九電グループの利益拡大に繋がる形で再エネの開発を進め、脱炭素社会づくりに貢献してまいります。

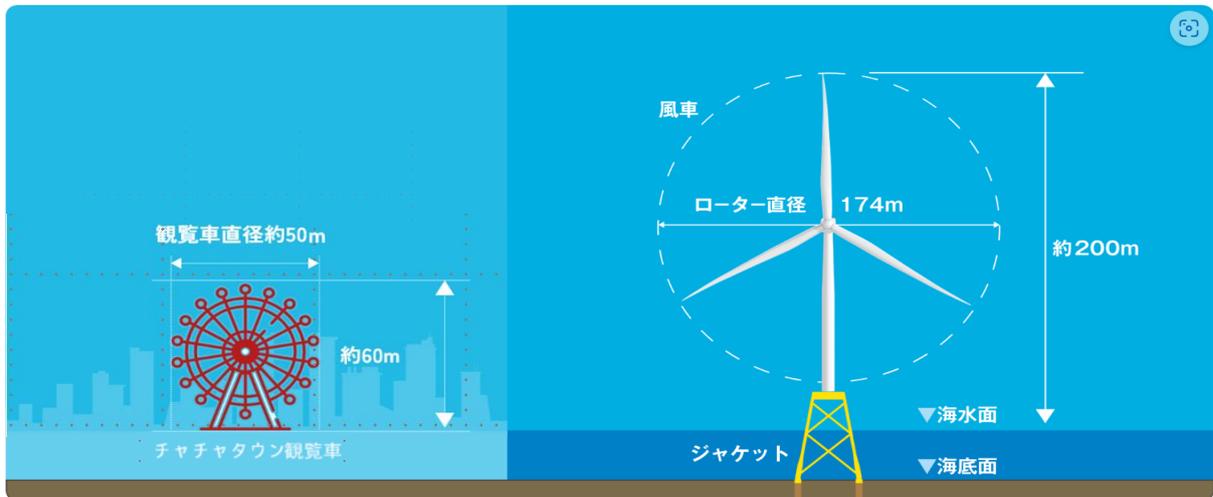
(据え付けられた実際の風車 6/25ひびきウインドエナジー撮影)



## 【発電所の概要】

事業者	ひびきウインドエナジー株式会社 代表取締役 水町 豊
株主構成	九電みらいエナジー(株)、電源開発(株)、北拓(株)、西部瓦斯(株)、(株)クラブティア
発電所名	北九州響灘洋上ウインドファーム
愛称	Wind KitaQ 25(ウインド キタキュウ ニジユウゴ)
所在地	福岡県北九州市若松区沖(響灘)
最大出力	220,000kW(Vestas 社 9,600kW の風力発電機を 25 基設置)
総事業費	約 1,700 億円
年間発電電力量	約5億 kWh
FIT 単価	36 円/kWh

## 【風車の概要】 ひびきウインドエナジーHP より



## 【主要経緯】

- ・ 2017年2月：北九州市の響灘洋上風力発電施設の設置・運営事業者公募に事業者選定
- ・ 同年4月：ひびきウインドエナジー株式会社設立
- ・ 2020年3月：再生可能エネルギー発電事業計画の認定(FIT 認定)取得
- ・ 2023年3月：着工
- ・ 2026年3月：営業運転開始



## 【問合せ先】

九電みらいエナジー(株) 経営企画部 井上 070-1525-5737

takahisa.inoue@q-mirai.co.jp